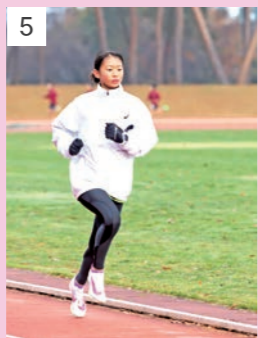


## 第33回東北中学校女子駅伝競走大会結果

遠野中 **優勝(初)** 優勝タイム **41分15秒**

走順(距離)	名前	タイム	通過順位
1走(3.0km)	菊池 恵愛	10分04秒	3位
2走(2.0km)	菊池 里咲	6分42秒※区間新	1位
3走(2.0km)	浜川 那々子	6分56秒※区間賞	1位
4走(2.0km)	佐藤 六花	7分19秒	1位
5走(3.0km)	菅原 雛星	10分14秒	1位



写真/練習の様子(11月23日、花巻市日居城野陸上競技場) 1~3\_ウォーミングアップの様子 4・5\_休息とダッシュを繰り返すインターバルトレーニングで走力を上げる 6\_練習を見守る父母。父母会の結束力の高さも、チームの強さにつながっている

## 第33回東北中学校女子駅伝競走大会

# 遠野中女子チーム初優勝



写真/東北大会初優勝を飾った遠野中陸上部女子駅伝チームのメンバー 左から\_菊池恵愛さん、菅原雛星さん、菊池里咲さん、浜川那々子さん、佐藤六花さん

### ◆監督インタビュー



監督(部活動指導員) 伊藤 光則さん

昨年の同大会を走ったメンバーが3人。経験者と新戦力が上手く融合し、良いレースが展開できました。期待も大きくプレッシャーを感じていたと思いますが、力に変えて良く走ってくれました。父母会や地域の人の応援の力も大きかったと思います。

「絶対に逆転はさせない」と力強く走り出した菅原さん。後続との距離を保ったまま、ゴールまで残り200mを切り抜きます。一度だけ後ろを振り返ると優勝を確信。笑顔でゴールテープを切りました。記録は41分15秒。2位の下小路に29秒差をつける圧巻の走りで、栄冠に輝きました。本大会終了後、1・2年の新体制で練習がスタートしました。菊池(恵)さんは、11月12日(日)開催の東日本女子駅伝に岩手代表として出場。区間3位のタイムを記録し、岩手も過去最高の6位入賞を果たすなど、同部は盛り上がりを見せています。主将・菅原さんは、「優勝できたのはみんなのおかげ。後輩には全国の舞台で活躍してほしい」とエールを送りました。

### 第33回東北中学校女子駅伝競走大会(東北中体連など主催)は10月28日(土)、山形県総合運動公園(天童市)周回コースで行われ、遠野中女子が初優勝を果たしました。市内中学校チームの優勝は男女通じ初の快挙。東北の頂点に立ちました。

大会は各県予選を勝ち上がった22チームが出場。遠野中女子の1走は菊池恵愛さん(2年)。序盤から先頭集団に加わり、トップと5秒差の3位で2走。菊池里咲さん(2年)につながりました。菊池里咲さんは、スタートから約300mで、先頭の古川東(宮城)を抜き去り逆転。区間新記録をマークし、チームをトップに押し上げました。3走。浜川那々子さん(1年)は、リードを広げて首位を独走。区間1位の快走で、2位との差を28秒としました。4走の佐藤六花さん(2年)は、プレッシャーのかかる場面で力走。区間3位のタイムで、主将・菅原雛星さん(3年)にタスキをつなぎました。「絶対に逆転はさせない」と力強く走り出した菅原さん。後続との距離を保ったまま、ゴールまで残り200mを切り抜きます。一度だけ後ろを振り返ると優勝を確信。笑顔でゴールテープを切りました。記録は41分15秒。2位の下小路に29秒差をつける圧巻の走りで、栄冠に輝きました。本大会終了後、1・2年の新体制で練習がスタートしました。菊池(恵)さんは、11月12日(日)開催の東日本女子駅伝に岩手代表として出場。区間3位のタイムを記録し、岩手も過去最高の6位入賞を果たすなど、同部は盛り上がりを見せています。主将・菅原さんは、「優勝できたのはみんなのおかげ。後輩には全国の舞台で活躍してほしい」とエールを送りました。

### 第5走者 Last Runner

⑤ 菅原 雛星 さん(3年)



ライバルの下小路に逆転させないことを意識して走りました。アンカーで優勝のテープを切るのは初めてで、うれしいです。来年は県、そして全国制覇を目指してほしい!

### 第4走者 Fourth Runner

④ 佐藤 六花 さん(2年)



自分のタイムに不安もあったけれど、全力で走ることができました。同時にもっと力をつけたいと思いました。駅伝と並行して、得意な短距離走の練習も頑張りたいです。

### 第3走者 Third Runner

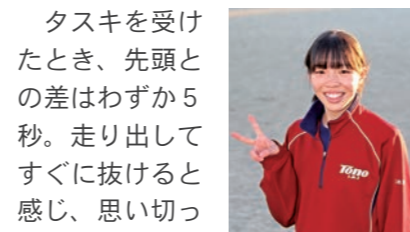
③ 浜川 那々子 さん(1年)



大きなリードがあり、絶対に1位は譲らないという気持ちで走りました。家族・仲間の応援も励みになりました。来年は1,500m競技での全国出場を目指して頑張ります。

### 第2走者 Second Runner

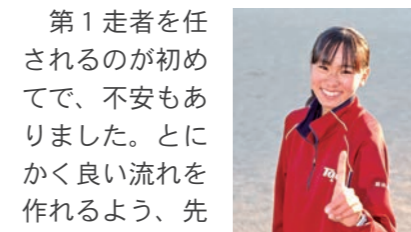
② 菊池 里咲 さん(2年)



タスキを受けたとき、先頭との差はわずか5秒。走り出してすぐに抜けると感じ、思い切って行きました。区間新記録が出せて、自分の1年での成長を実感しています。

### 第1走者 First Runner

① 菊池 恵愛 さん(2年)



第1走者を任されるのが初めてで、不安もありました。とにかく良い流れを作れるよう、先頭についていくことを意識して走りました。優勝できて、とてもうれしいです!

### ◆選手インタビュー

優勝した5人に聞きました。

